

## 教えることは 二度学ぶこと

いしかわ たくじ  
石川 卓治さん

当別町の剣道少年団指導者として、小中学生の指導を行いながら、平成28年11月に町内で3人目となる七段位合格者となった石川卓治さんにお話を聞きました。



### もともとは野球と両天秤

**野球**が好きで小さい頃から野球をやっていました。小学3年生のある時、姉が剣道をやりたいということで、一緒に練習を見に行ったら「ちょっとやってみたいなあ」と少し興味を持ちました。その頃は、野球チームに所属していたので、野球をメインにしつつ剣道の稽古を始めることになりました。小学校卒業の頃、近所の方から剣道防具一式をいただいてしまったんです。その方は、当時札幌剣道連盟の会長だった方で、多分、「中学生になっても頑張れよ」ということだったので。これがきっかけで、野球から剣道へと完全に切り替え、中学から本格的に稽古に励むようになりました。

### 10度目で叶った剣士の目標

**段位**は中学生の時に初段を取り、大学生の時には四段を取得しました。段位は剣道をやるうえでの一つの目標であり、自分の生き方を見直す機会であったり、これから先を考えるものだと思います。七段の合

格率は15～16%と難関です。私も平成28年11月12日愛知県で開催された剣道七段審査会に10度目の挑戦をし何とか合格できましたが、これまでに10年以上かかりました。七段審査会での受験は、年4回可能ですが、道外でしか行われないため、年1回の挑戦が精一杯です。合格できて本当にうれしかったですし、「ほっと」しました。

### 子どもたちの成長のために

**社会人**になってから、少年団の指導を行うようになりました。当別での指導は、平成14年に転勤で来てから行っています。当別と西当別と別々に少年団がありますが、どちらの練習にも参加できるような体制をとっています。中学生も稽古に加わり、中学生が小学生を、高学年は低学年を教えながら一緒に行っています。剣道は武道であり、技術だけではなく、挨拶や礼儀など人間形成に必要なものを教え・学ぶものだと思います。「教えることは二度学ぶこと」人に教え伝えるには自分自身がしっ

かりと学ばなければいけないし、人に教えることによって、自身もしっかりと見本になるよう意識を持つ事が私は必要だと思います。



子どもたちを指導する石川さん

他の少年団の指導者も皆さん同じ思いではないでしょうか。平成28年11月末に出場した北海道スポーツ少年団剣道交流大会では悔しい結果に終わりましたが、強いチームと肩を並べて戦えたことは子どもたちにとって良い経験だったと思います。私も七段位合格者として、段位に恥じぬよう身を引き締めて子どもたちと成長していきたいと思っています。

現在の勤務先が離れているため、平日の練習は他の指導者をお願いし、指導は土日ですが、子どもたちのために真剣に指導されていました。（12月10日取材）